

御 中

公共建築 工事標準仕様書・改修工事標準仕様書(建築工事編) 対応仕様

適 用：水性 木材保護塗料塗り(WP)相当 浸透型
材 料：もくぬへる 水性WPカラー 各色 (JASS18 M-307 適合品)
施工箇所：外装木部

工 程		種 別		塗 料 そ の 他		塗付け量 (kg/m ²)	乾燥時間 (20℃)
		A種	B種	規格番号	製 品 名		
新設:素地ごしらえ		○ (注)1		18.2.2 木部の素地ごしらえ による。		—	—
改修:下地調整				7.2.2 木部の下地調整 による。			
1	下 塗 り	○	○	JASS 18 M-307	水性WPカラー 各色 S8-****	0.06 (0.10) (注)3	3 時間以上
2	上 塗 り (1回目)	○	○	JASS 18 M-307	水性WPカラー 各色 S8-****	0.06	A種 …3 時間以上 B種 …24時間以上
3	上 塗 り (2回目)	○	—	JASS 18 M-307	水性WPカラー 各色 S8-****	0.04 (0.06) (注)3	A種 …24時間以上 B種 … —

- (注) 1. 素地ごしらえ、下地調整 の種別は、塗料その他の欄による。
2. JASS 18 M-307 は、日本建築学会材料規格である。
3. 改修時、塗り替えの場合は、塗付け量を()内とする。
4. 改修時、新規に塗装する場合は、下地調整に代えて、素地ごしらえを 7.3.2 により行う。

注記

- ・ 本仕様は、公共建築工事標準仕様書(令和7年版) 及び、公共建築改修工事標準仕様書(令和7年版) に基づいた仕様です。
- ・ 上記塗付け量は公共建築工事標準仕様書(令和7年版) 及び、公共建築改修工事標準仕様書(令和7年版) の木材保護塗料塗りの塗付け量です。その為、カタログ値とは異なります。
- ・ 既存塗膜がある場合は、表7.2.1 木部の下地調整のRA種(既存塗膜の全面除去)等を適用して下さい。
- ・ 使用前に中身が均一になる様に攪拌棒等で十分に攪拌してからご使用下さい。
- ・ 乾燥時間は、塗布量・材種・天候(気温・湿度)により異なります。(上記の乾燥時間は、気温20℃、湿度60%、木材含水率18%以下の条件下のものです。)
- ・ 乾燥時間や塗り重ね可能時間は温度や湿度等の条件により異なります。
- ・ 塗布量が多すぎたり、乾燥が不十分な状態で重ね塗りを行うと乾燥不良、塗膜異常等の原因になります。(塗布量は素材の状態によって大きく変わります。ご注意下さい。)
- ・ 材種によって塗装後の色感が異なります。必ず試し塗りを行ってからご使用下さい。
- ・ カラレス単体での外部使用は耐候性の面から避けて下さい。
- ・ 色濃度はカラレスで調整して下さい。水等で調整すると十分な塗膜性能が発揮できなくなる恐れがあります。また、カラレスの添加量が増えるにつれて耐候性が低下しますのでご注意下さい。
- ・ 5℃以下の低温時や多湿時の塗装は乾燥不良を起こす可能性があるため避けて下さい。
- ・ ヤニや油分が多い木材に塗装する場合、表面のヤニや油分を取り除いてから施工して下さい。
- ・ 刷毛塗りにはナイロン刷毛等の水性塗料用の刷毛をご使用下さい。
- ・ ローラー塗りには毛足が4mm程度の短毛のローラーをお勧めしていますが、発泡にはご注意下さい。
- ・ 十分に乾燥していない状態で雨水等で濡れた場合、仕上がりに影響が出る可能性があります。また、塗装後も同様に乾燥が不十分な状況にて降雨等の影響が考えられる場合は、適切な養生を行って下さい。
- ・ その他の注意点につきましてはカタログ、容器の注意書き、安全データシート(SDS)もご確認下さい。

以 上